2022年3月期 第3四半期
決算補足資料

2022年2月8日

daiwabo

ダイワボウホールディングス株式会社

（証券コード：**3107**）

連結決算ハイライト

2022年3月期 第3四半期（2021年4月1日～2021年12月31日）

需要反動減に加えて世界的な供給不足による影響が拡大するも3Q累計としては過去3番目の利益水準を確保

ITインフラ流通事業	企業・官公庁向けのIT需要は回復傾向にあるものの、半導体不足等により一部の商品が逼迫し複合提案が難航 文教市場は前年下期のGIGAスクール構想に伴う全国規模の端末出荷と比較して減収 コンシューマ向け市場はテレワークが活性化した前期と比較して、PC・周辺機器を中心に販売が減少
繊維事業	環境負荷の少ないレーヨンは堅調に推移も、除菌関連需要の反動等による販売減少に加えて事業全般で原燃料価格の高騰を受け利益面で低迷
産業機械事業	受注環境が回復する中で、改造・部品交換などのサービス売上も増加したが、前期の受注減少および原材料の高騰により苦戦

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

2022年3月期 3Q累計　売上高

売上高　**539,068**百万円

前年同期比 △**17.1**%

（従来基準比較）

▶収益認識基準の影響額 **49,128**百万円

▶新基準比較 △**18.4**%

通期進捗率 **65.7**%

※「収益認識に関する会計基準」の適用についてはP4に記載しています。

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

2022年3月期 3Q累計　営業利益

営業利益　**14,877**百万円

前年同期比 △**29.8**%

営業利益率 **2.8**%

3Q累計で過去3番目の営業利益

通期進捗率 **52.2**%

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

収益認識に関する会計基準の適用について

2022年3月期より企業会計基準第29号「**収益認識に関する会計基準**」を適用
ITインフラ流通事業の一部取引について売上高の計上方法を変更

（百万円）		2021/3 3Q	2022/3 3Q	増減
売上高	①旧基準	709,830	588,196	△121,633 △17.1%
	②新基準	-	539,068	
	②-①	-	△49,128	
営業利益		21,201	14,877	△6,324 △29.8%
営業利益率	①旧基準	3.0%	2.5%	
	②新基準		2.8%	

＜主な変更点＞

■代理人取引に係る収益認識

ITインフラ流通事業における**保守・保証サービス、ソフトウェア（継続課金等）販売などの取引の一部**について、販売先への商品・サービスの提供における当社の役割が、会計基準上の「**代理人**」に該当するため収益認識の方法を変更

【旧基準】：販売対価の**総額**（A）を売上計上

【新基準】：販売対価の**純額**（A-B）を売上計上

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

（補足）ITインフラ流通事業の「取扱高」について

取扱高
Transaction Volume

- 2021年3月期以前の売上高と同じ基準で算出
  （＝会計基準変更前の売上高）
- 取引規模を示す上で重要な指標となるため「取扱高」として継続して活用
- 管理会計における営業評価

「収益認識に関する会計基準」
適用による影響額
（2022/3期～）

一部の保守・保証サービス、iKAZUCHI(雷)によるソフトウェア販売など、会計基準上の「代理人取引」について、販売対価の純額を売上高に計上

売上高
Net Sales

- 2022年3月期以降の売上高
- 財務会計における業績評価

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

2022年3月期 3Q累計　連結決算概況

（百万円）	2021/3 3Q	2022/3 3Q	増減	前期比	通期予想	進捗率
売上高	709,830	**539,068**	―	―	820,000	65.7%
営業利益	21,201	**14,877**	△6,324	△29.8%	28,500	52.2%
経常利益	21,630	**15,066**	△6,564	△30.3%	28,500	52.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,369	**10,478**	△5,890	△36.0%	18,500	56.6%
1株当たり四半期純利益（円）	170.26	**109.78**				

（百万円）	2021/3	2021/12	増減	主な増減理由
総資産	383,757	**354,261**	△29,496	売上債権等の減少
純資産	129,322	**129,027**	△294	自己株式の増加
自己資本比率	33.4%	**36.2%**		

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

2022年3月期 通期業績予想 （※公表値から変更なし）

（百万円）	2021/3（実績）		2022/3（予想）		増減（※）	前期比（※）
	金額	率	金額	率		
売上高	1,043,534		**820,000**		△223,534	△21.4%
ITインフラ流通	969,748		**742,000**		△227,748	△23.5%
繊維	61,033		**64,700**		+3,666	+6.0%
産業機械	11,582		**11,100**		△482	△4.2%
営業利益	35,028	3.4%	**28,500**	**3.5%**	△6,531	△18.6%
ITインフラ流通	33,226	3.4%	**24,400**	**3.3%**	△8,826	△26.6%
繊維	1,350	2.2%	**3,450**	**5.3%**	+2,099	+155.5%
産業機械	537	4.6%	**640**	**5.8%**	+102	+19.0%
経常利益	35,781	3.4%	**28,500**	**3.5%**	△7,281	△20.4%
親会社株主に帰属する **当期純利益**	25,715	2.5%	**18,500**	**2.3%**	△7,215	△28.1%

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、当該基準に基づいた予想としております
増減および前期比については、会計基準の変更を考慮せずに単純に比較した参考値を記載しております

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

2022年3月期 3Q累計　セグメント別業績

（百万円）		2021/3 3Q	2022/3 3Q	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	655,037	**485,355**	—	—
	繊維	46,000	**43,446**	△2,554	△5.6%
	産業機械	7,979	**7,827**	△151	△1.9%
	その他	813	**2,439**	+1,626	+200.0%
	合計	709,830	**539,068**	—	—
営業利益	ITインフラ流通	20,234	**12,981**	△7,252	△35.8%
	繊維	659	**1,394**	+734	+111.4%
	産業機械	362	**354**	△7	△2.2%
	その他	△54	**144**	+199	—
	（調整額）	0	3		
	合計	21,201	**14,877**	△6,324	△29.8%

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

セグメント構成割合

売上高構成割合

	2021/3 3Q	2022/3 3Q
ITインフラ流通	91.1%	**90.0%**
繊維	7.3%	**8.1%**
産業機械	1.4%	**1.5%**

営業利益構成割合

	2021/3 3Q	2022/3 3Q
ITインフラ流通	99.0%	**87.3%**
繊維	△1.8%	**9.4%**
産業機械	3.5%	**2.4%**

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

ITインフラ流通事業

取扱高 ※旧基準売上高	**534,483**百万円	（前期比△**18.4**%）
売上高	**485,355**百万円	（前期比△**25.9**%）
営業利益	**12,981**百万円	（前期比△**35.8**%）

PC出荷台数	**201.4**万台	（前期比△**35.6**%）
サーバー出荷台数	**4.1**万台	（前期比△**5.3**%）
サブスクリプション取扱高	**51,009**百万円	（前期比+**5.6**%）
iKAZUCHI(雷)取扱高	**10,588**百万円	（前期比+**31.6**%）

事業概況

コーポレート向け市場	■ 企業・官公庁向けは、半導体不足等により一部商品が逼迫し複合提案が難航するも、クラウド環境の構築が進みサブスクリプション型サービスやPC・モニタ等の需要が拡大 ■ 文教市場では教育ICTの需要が広がるものの、前年下期のGIGAスクール構想に伴う全国規模の端末出荷と比較して減収
コンシューマ向け市場	■ 家電量販店向けにモニタの販売は好調に推移したが、テレワーク需要が活性化した前期と比べてPCや周辺機器を中心に販売が減少

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

繊維事業

売上高	**43,446**百万円	（前期比△**5.6**%）
営業利益	**1,394**百万円	（前期比＋**111.4**%）

事業概況

合繊・レーヨン部門	■ 環境負荷の少ないレーヨンは堅調に推移したものの、マスクや除菌シート向け合繊不織布の前期までの需要反動減に加え、原燃料高騰もあり引き続き苦戦
産業資材部門	■ 電子部品メーカー向けカートリッジフィルターは継続して需要が旺盛であり、合繊帆布など重布関連の需要が回復基調も原燃料高騰等コスト増により利益面で低迷
衣料製品部門	■ 米国向け衣料やアンダーウェアは回復傾向も小売店舗での購入は継続して減少しており、特に子供向けカジュアル衣料の不振により減収減益

【ご参考】前期2Qに不適切取引の影響額を反映しております（2020/12/11開示）

	2021/3 3Q		2022/3 3Q
	影響額	影響除外時	影響除外時の前期比
売上高	△640百万円	46,641百万円	△6.9%
営業利益	△1,994百万円	2,654百万円	△47.5%

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

産業機械事業

（百万円）

売上高	**7,827**百万円（前期比△**1.9**%）
営業利益	**354**百万円（前期比△**2.2**%）

事業概況

工作機械部門	■ 日本工作機械工業会の4～12月受注総額は前期比83.3%増となる中、主力の航空機・鉄道関連の回復は鈍いものの、各種設備投資補助金の採択が進み、主に金属製品・半導体業界の受注が回復し、受注高は前期比58.2%増加 ■ 社内体制の強化によりサービス売上は増加したが、前期の工作機械本体の受注減少と、原材料価格高騰の影響を受けて減収減益
自動機械部門	■ 顧客の設備投資に慎重な姿勢は継続しているものの、受注高は前期比60.3%増加 ■ 複数台のライン売上や部品交換等のサービス売上の強化により、実績は改善

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

2022年3月期 3Q　連結貸借対照表（決算短信P4-5）

daiwabo

（百万円）	2021/3	2021/12	増減
流動資産	331,461	**303,029**	△28,432
現金及び預金	32,058	**57,459**	+25,400
受取手形、売掛金及び契約資産（※）	246,897	**176,366**	△70,531
商品及び製品	32,580	**49,568**	+16,987
有形固定資産	39,172	**38,725**	△447
無形固定資産	2,696	**2,470**	△225
投資その他の資産	10,426	**10,036**	△390
資産合計	383,757	**354,261**	△29,496

	2021/3	2021/12	増減
流動負債	230,519	**195,875**	△34,643
支払手形及び買掛金	188,483	**166,633**	△21,850
短期借入金	15,255	**12,185**	△3,070
固定負債	23,916	**29,358**	+5,442
長期借入金	12,065	**16,247**	+4,182
負債合計	254,435	**225,233**	△29,201
純資産合計	129,322	**129,027**	△294
自己株式	△123	**△2,123**	△2,000
負債純資産合計	383,757	**354,261**	△29,496

※前期は「受取手形及び売掛金」

受取手形、売掛金及び契約資産	246,897	→	**176,366**	△70,531	DISの売上債権の回収
支払手形及び買掛金	188,483	→	**166,633**	△21,850	DISの仕入債務の減少
借入金合計	27,321	→	**28,433**	+1,111	

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

2022年3月期 3Q累計　連結損益計算書（決算短信P6）

（百万円）	2021/3 3Q		2022/3 3Q		増減	前期比
	実績	率	実績	率		
売上高	709,830		**539,068**		△170,762	△24.1%
売上総利益	55,019	7.8%	**44,682**	**8.3%**		
販売費及び一般管理費	33,817	4.8%	**29,805**	**5.5%**		
営業利益	21,201	3.0%	**14,877**	**2.8%**	△6,324	△29.8%
経常利益	21,630	3.0%	**15,066**	**2.8%**	△6,564	△30.3%
特別利益	1,459 ※		**342**			
特別損失	740 ※		**51**			
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,369	2.3%	**10,478**	**1.9%**	△5,890	△36.0%

※前期特別利益　DIS物流センター売却益（**754**百万円）、繊維事業海外工場の移転補償金（**658**百万円）

※前期特別損失　遊休地等の減損損失（**521**百万円）

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

株主還元

2022年3月期（予想）

中間配当（初）	**30円**	期末配当	**30円**
		年間配当	**60円**
配当性向	**31.2%**	総還元性向	**41.8%**
自己株式取得	約**20**億円（2021/5/14～8/31）		

※株式併合（2017/10/1）・株式分割（2021/4/1）を過年度に遡及して表示

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

グループとしてのサステナビリティ

2022年3月期

上期の主な取り組み

マテリアリティ策定

Daiwabo Sustainable Action2021

5分類17項目を策定し活動項目を紐づけ

取締役会の独立性と多様性の向上

独立社外取締役比率 **57%**

女性取締役比率 **29%**

経済産業省が定める「DX認定」を取得

下期の主な取り組み

プライム市場選択

2022年4月4日よりプライム市場に上場

グループCO_2排出総量削減の策定

2030年までに**30%削減**（Scope1・2合計量/2013年度比）

ESG開示の拡充

ESGデータ、基本的な考え方 等

気候変動関連情報の開示に向けた取り組み

TCFD提言に基づくシナリオ分析（次年度公表予定）

グループ連携強化

ESG推進委員会 ／ ESG推進会議

- 活動進捗の定期的な確認・共有
- マテリアリティの評価・見直し 等

継続的なESG活動

情報発信の充実

サステナビリティサイト

- ESG推進体制・マテリアリティ
- ESGに関する基本的な考え方
- ESGデータ 等

https://www.daiwabo-holdings.com/ja/sustainability.html

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

【参考資料】中期経営計画

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

中期経営計画（2021/5/13発表）

- 対象期間　**2022年3月期～2024年3月期**（3ヵ年計画）
- 位置づけ　**「将来にわたる発展を見据えた転換期」**
  - ➤ 持続的成長に向けた『ビジネスモデル変革』への挑戦期間
  - ➤ ESG視点での事業を通じた社会課題解決への貢献
  - ➤ 未来を創る人材価値の最大化

グループ基本方針

1 **01　次世代成長ドライバーの創出**

2 **02　リーディングカンパニーとして新たな社会作りへの貢献**

3 **03　経営基盤変革**

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

中期経営計画　収益指標

（億円）	2021/3（実績）	2022/3（計画）	2023/3（計画）	2024/3（計画）
売上高	10,435	8,200	8,300	8,750
営業利益	350	285	286	314
営業利益率	3.4%	3.5%	3.5%	3.6%

→収益認識に関する会計基準を適用

＜売上高推移イメージ＞

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

中期経営計画　グループ経営指標

ROE 14%以上

自己資本当期純利益率
＜株主資本に対するリターン＞

＞

株主資本コスト
8.6%
（現状の自社認識）

ROIC 11～12%水準維持

投下資本利益率（※）
＜投下資本に対するリターン＞

＞

WACC
加重平均資本コスト
7.0%
（現状の自社認識）

持続的な企業価値向上

※税引後営業利益／（純資産＋有利子負債）

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

中期経営計画　キャッシュ配分方針

基本方針	
	• 株主還元の充実化を適切に図る • 既存事業の持続的成長に向けた投資を継続しつつ、新規領域への成長投資を実施 • 一定の手元流動性を確保し、戦略的な商品調達や不測の事態に備える

<キャッシュ配分項目>

配当	既存領域への成長投資	新規領域への成長投資	自己株式取得	手元流動性の確保
1株当たり60円（中間配当含む）の安定配当を基本方針としてキャッシュ状況にあわせて増配なども検討	既存事業の持続的成長に向けて**設備投資・マーケティング・研究開発・人材採用**などを行う	市場拡大が見込まれるDX関連領域を中心に**新たな事業の柱を育てるべく業務提携やM&Aの検討**を開始	市場環境に応じて**機動的な自己株式の取得**を検討	ITインフラ流通事業における戦略的な商品調達に伴う資金需要および不測の事態に備えた**手元流動性の確保**

2022年3月期
配当予想
中間**30**円+期末**30**円

約**20**億円の自己株式を取得
取得総数　約 **104**万株 ／ **1.08**%
取得期間　2021/5/14～2021/8/31

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

中長期的な成長イメージ

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

【参考資料】業績推移グラフ

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

連結売上高（3Q累計期間）

（百万円）

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

連結営業利益（3Q累計期間）

（百万円）

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

連結経常利益・連結四半期純利益（3Q累計期間）

（百万円）

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

四半期別業績

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

連結総資産・連結純資産・自己資本比率

（百万円）

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

設備投資額・減価償却額・研究開発費

（百万円）

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.

https://www.daiwabo-holdings.com/

daiwabo ダイワボウホールディングス株式会社

【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

©2022 Daiwabo Holdings Co., Ltd.